

みさき

17号

美咲町議会だより

2009年8月10日発行



新たに選出された美咲町議会議員

主な内容

- 6月定例会 条例改正および委員会の報告 —— 3～5
- 全議員が町政を問う 一般質問 —— 6～20
- 議会を傍聴して 傍聴記 —— 21
- 視察報告 ゴミ処理施設・協働のまちづくり —— 22～23

行政課題に全力で取り組む

議長あいさつ



三船勝之 議長

このたび、議会議長の重責を与えていただき、その責任の大きさを重く受け止めています。

昨年来の世界的大恐慌は、わが国にも多大な影響を及ぼすことになりました。

このような経済情勢の中、美咲町も今後、財政運営が厳しい状況になるのではと心配しています。

国は地方に一定の権限を与え自己決定、自己責任の方針で地方自治体に権限委譲を行っています。その基本となるものは、財政の健全化であり、持続性の

ある財政の確立です。

具体的には、行財政改革による人件費の削減・受益者負担の明確化・すべての産業の見直しが必要です。財源に見合う予算とし、補助金を有効に活用して、町民の要望に応える施策の展開をすることです。

行政課題は数多くあります。

さらなる福祉

の充実

高齢者・若者定住・子育て支援、青少年健全育成など

農・商・工業

支援策

企業と農業のタイア

ップ、農林業の見直し、木材利用の拡大、バイオマス利用など

インフラ整備

長期的展望によつた道路公共施設整備など

情報、教育、交通

情報、教育、交通

情報化社会への対応、学力の向上と豊かな人間育成、情報教育などの教育改革

協働のまちづくり

地域の魅力を生かしたまちづくり、町民参加、イベントなど

町民の安全と福祉の向上を図りながら、住んで良かったと思えるまちづくりをしなければ



若い力で 元気な町へ 柵原DON DONまつり

ばなりません。

そのために、執行部、議会が丸となり勇気と責任を持って、取り組むことが基本であると思います。

私たち議会は執行部のチェック機関であるとともに議会提案も視野に入れながら、元氣な美咲町になるよう頑張ります。

6月定例会の報告（6月16日から26日まで）

定例会が招集され、条例二件、二億三千七百七十二万円を追加する一般会計補正予算など補正予算十一件、その他六件が上程された。

条例の改正など

条例の改正・計画の変更などが上程され、審議の結果、全会一致で可決した。主なものは次のとおり。

役場職員の終業時間

17時15分へ

職員の勤務時間条例を改正

人事院勧告に基づき職員の勤務時間を短縮するもの。現行の8時30分から17時30分までを17時15分までとする。

鉱山公園整備を追加

美咲町過疎地域自立促進市町村計画に鉱山公園整備事業を追加す

るもの。

町道整備を

追加、変更

辺地計画を変更

辺地に係る総合整備計画に「町道普毛田祖母前線改良舗装事業（中央地域）」を追加、「町道久木高城線改良舗装事業（柵原地域）」を変更するもの。

美咲霊園の

管理者を指定

指定管理者の指定

町営墓地公園美咲霊

園の指定管理者を「打穴西地区」へ3年間委託するもの。



来園者が増加している鉱山公園

陳情・請願

敬称は省略させていただきます。

陳情一件、要望二件を常任委員会に付託し審査した。結果は次のとおり。

安高川に

砂防ダム建設を

美咲町栃原自治会

会長 黒瀬多久衛
現地視察を踏まえて緊急な施設整備が必要との確認をし採択とした。

るが、今少し状況の把握に努めるため継続審査とした。

旧打穴小学校に

改修工事を

美咲町中央地区文化協会
会長 宮尾忠一
文化協会の生涯教育活動は重要な取り組みであり趣旨採択とした。

工事の適正発注を

美咲町建設業協会

会長 浅津真悟
協会の意向は尊重す

北朝鮮の核実験に

抗議する決議

北朝鮮の核実験は、いかなる理由があろうとも正当化することはできない。このため日本政府に対して決議文を送付した。

議員発議

常任委員会から

総務 みさきネット 管理センターを設置

21年度一般会計・特別会計補正予算、条例案件七件など付託された九件を審査し、全会一致で承認した。

の繰出金、消防施設費八百九十三万円は、防火水槽工事費。

■主な質疑応答

◎21年度補正予算
一般会計

繰越金は、1/2を繰上償還するか

歳入歳出に二億二千七百七十二万円を追加し、総額九十九億五千四百四十一万円とするもの。

【歳入】分担金および負担金千二百十七万円、県支出金五千二百七十四万円、繰入金四千万円、繰越金六千八百六十二万円、町債五千八百三十万円。

【歳出】総務一般管理費二百三万円は、職員時間外手当、企画費千八百八十四万円は、みさきネット特別会計へ



美咲町の情報発信基地 みさきネット管理センター
(本庁第二分庁舎)

【問】 中央中学校建設費用に充てたい。

【答】 中央中学校建設費用に充てたい。

【問】 墓地公園販売の見通しは。

【答】 百五十四区画のうち二十九区画が販売済み、全区画の完売に努力する。

【問】 地域活性化対策交付金三億円の事業を地元業者へ発注しているか。

【答】 基本的には、建設工事と同様に地元業者に発注している。

【問】 コールセンターと管理センターの仕事の違いは。

【答】 コールセンターは24時間対応で主に苦情処理を行い、管理センターは現場に出向き対応処理する。

【問】 みさきネットの対応をすべて岡山中央情報公社に委託で

【答】 24時間対応が困難である。

【問】 巡回バス利用の障害者はステップが高く乗降に不便、配慮できないか。

【答】 身障者団体からも要請があったため補助ステップの設置を検討したが、構造上難しい。バスの買い替え時に再度検討する。

【問】 町税徴収の現状と対策は。

【答】 税率の変更により町民税は増えているが、法人町民税・たばこ税は減っている。19年度に比べて滞納が増え全体の収納率が落ちている。職員で滞納徴収プロジェクトを組織して徴収する。

民生教育

中央中学校建設費に 3千4百万円の追加

付託された五議案を審査。補正予算の中で職員の時間外手当の追加に反対意見があったが、賛成多数で承認した。

料三千四百六十六万円など。

■主な質疑応答

【問】 柵原地域と中央家の管理方法が違うが統一するのか。

【答】 名称は同じだが、施設の内容・位置づけが異なる。柵原地域では町の管理、中央地域では指定管理委託である。統一は今のところ考えていない。

【問】 児童福祉費七百九十八万円は、職員の時間外手当、各保育園の設備修繕費など。小学校費三百七十三万円は、各学校の施設修繕費など。中学校費三千五百八十万円は、柵原中学校の設備修繕費三十三万円、中央中学校建設事業費の実設計委託

【問】 柵原地域と中央家の管理方法が違うが統一するのか。

【答】 名称は同じだが、施設の内容・位置づけが異なる。柵原地域では町の管理、中央地域では指定管理委託である。統一は今のところ考えていない。

表 高校生の医療費申請状況

申請月	申請数(件)	申請金額(千円)
3月	2	9
4月	36	198
5月	77	232
6月	82	224

問 2月から乳幼児医療費の無料化を高校生までに拡大しているが、申請状況は。

答 現在までに百九十七件の申請があった。詳しくは左表のとおり。



開館した柵原児童館を視察する民生教育常任委員会メンバー(吉ヶ原地内)

問 中央中学校建設検討委員会の構成は。

答 中央地域の小学校の校長、教頭、PTA会長、学識経験者などの十人で構成。

問 中央中学校建設の今後の計画は。

答 21年度に実施設計と用地買収。22年度から工事着手。24年4月に開校予定。

柵原児童館を視察

6月1日に開館した柵原児童館を現地視察した。教員免許を持つ

産業建設

**森林整備事業で
林道小谷線を改良**

た児童厚生員二人が午前9時から午後6時まで常駐。一日平均五十人の利用。今後も子どもたちの成長のために、十分利用してほしい。

付託された一般会計・特別会計補正予算五件を審査し、承認とした。

◎21年度補正予算一般会計

主なものは、旭地域の林道小谷線の経済対策森林整備事業三千五百万円、家庭などで太陽光発電を利用する新エネルギー推進費七十万円、加入団体の減少による津山資源循環施設組合負担金の追加分千七十万円、道路維持費七百九十万円、小規模土地改良事業、材料支給、農道舗装、法面整備などに五千二百四

問 環境保全対策費はどのような案件が該当するのか。

答 騒音防止、悪臭などの環境に対応するもので、各市町村の窓口で対応している。

問 新エネルギー事業の内容は。

答 太陽光などを利用し、発電協会に申請するもので2月から推進中である。

問 下水道事業の使用料は、今後値上げするのか。

主な質疑応答

答 現状では考えていない。

問 下水道事業をどのように考えているのか。

答 旭地域では合併処理浄化槽、中央地域は小原地区が最終処理、そのほかは合併処理で対応。柵原地域は35年度を最終事業としている。

問 鉾山公園の現状は。

答 20年度は、入場料、販売品、繰入

金が増えているが収支はなかった。今後、運営について検討したい。

問 緊急雇用の交付金とは。

答 森林組合、シルバー人材センターの登録者で、ハローワークで申請手続をした人が対象。勤務内容は、町内のバス路線の維持管理が主である。現在、人数、雇用期間を検討中、至急案内をする。



エコロジーに対応する太陽光発電 (美咲中央小学校)

問う

一般質問

質問 民意を反映する 具体策は

50人委員会を立ち上げ 幅広い意見を聞く

答弁



松島 啓 議員

地域づくりを進めたい。日頃、発言する機会の少ない人からそれぞれの立場で幅広く意見を聞いていきたい。

総合支所機能の強化を

問 町長は選挙公約の中で、「対話の行政」「民意の反映」を掲げていた。具体策は。

答 定本町長

政治・民主主義の基本は民意を反映することである。住民が町政に対する提案や意見を言えるシステムをつくらなければならぬ。その具体策として「50人委員会」を立ち上げる。約五十人を公募で選び、住民自らが身近で関心の高い課題を話し合い、活力ある

問 合併後の4年間で、柵原・旭総合支所の課の統廃合による職員減少、人事異動で「役場が遠くなった」気がする。「周辺地域がさびれていく」と言う声を聞く。今後、各総合支所機能の強化をどう図っていくか。

答 定本町長

地域間格差の解消を望む声が多い。そのため、総合支所の機能強化を図らなければならぬ。

ばならない。まず、各総合支所に保健師を一人以上常駐させ、地域の保健福祉を守る。保健センターも以前のように、各地域に設置する。また、地元出身の職員を各総合支所に半数ほど配置し、相談しやすい環境をつくる。



福祉巡回バスは地域の命綱

デマンド交通の導入を

問 福祉バスの充実を望む。

答 定本町長

特に、高齢者などの交通手段の確保に、要望に合わせてその都度、希望地に運行する「デマンド交通システム」を導入できないか。福祉バスの運行

問 2005年からわが国は、人口減少時代に突入した。

①本町の人口推移は。
②人口減少の原因は。
③人口減少に歯止めをかける対策は。

答 桑元住民課長
①左表のとおり

表 美咲町の人口推移(4月1日現在) (単位:人)

17年	18年	19年	20年	21年
17,495	17,222	16,969	16,773	16,570

※平成17~21年の4年間で905人の人口減となっている。

答 定本町長

②わが国の人口構成が大きく変わり、将来への不安があり少子化が進んでいる。
③若者が企画した出合いの場を設定したい。また、企業と若者のパイプ役に「産業支援課(仮称)」を設置して都会への流出を食い止めたい。さらに、空き家対策に台帳をつくり、町外からの問い合わせに対応したい。

町政を

質問 公共料金の支払いを コンビニで

岡山中央情報公社との 協議が必要

答弁



山本宏治 議員

問

公共料金の支払いがコンビニエンスストアでできないか。24時間支払いができれば便利であり、滞納も少なくなるのでは。住民サービスにもなると思うが。

答

定本町長

近隣の市町村では、このようなシステムの導入はまちまちである。今後、経費なども含め検討する。

答

高田会計課長

納付書の作成、収納消し込みなどを岡山中央情報公社と委託契約しており、協議が必要である。コンビニエンスストア、収納代行者などの協議、バーコードなどの課題、各担当課との調整など必要である。導入経費も含め関係団体の意見を聞きたい。年度途中での導入は難しく、22年度までに前向きに検討したい。

質問

IP電話のトラブルの対応は

答弁

管理センターを設置する

問

IP電話は、無料通話でも使えない人があり、当初は利だがトラブルも多い。高齢者の中には理解できず、IP電話回線を利用しない人もいる。加入率は当初の計画どおりなのか。

やり方など理解していない人があり、当初はトラブルが多かった。

答

定本町長

トラブルが発生したら電話対応だけでなく現地に向くよう指示している。加入目標値は60%だが、現在47%の加入である。

答

中西情報交通課長

IP電話は4月から運用開始をし、現在二千七百戸の加入である。今後も加入推進を広報誌などで呼びかける。

IP電話の再起動（リセットボタン）の



IP電話 分からなかったら管理センターへ（みさきネット管理センター職員）

現在は慣れて徐々に減ってきている。7月から「みさきネット管理センター」を本庁第二分庁舎に新設し、問い合わせに対応している。時間外はコールセンターで対応している。

高年齢者の交通手段を確保せよ

指定管理を含め 研究する



岡田 壽 議員

問 暮らしの中で高年齢者の交通手段の確保は大切。福祉巡回バスの乗り場まで遠い高年齢者の苦痛を解消すべきではないか。

地域住民、企業、行政が一体となった地域公共交通を考える必要がある。指定管理者制度を使って小廻りのきく車を地域で運行することは可能か。

答 定本町長 福祉巡回バスは二十九路線で運行。経費は二億二千二百三十

答弁

五万円と巨額。地域内で利用しやすいように路線変更することは可能。

蒜山では倉吉の病院がバスを運行し、買物もできると聞く。業務の指定管理を含めて研究したい。

農林業公社の設置が必要では

提案は1つの方法

問 基幹産業の農林業は高齢化し、後継者もいない。集落営農を推進しているが、組織化も共同化も進まない。このままでは荒地が増加する。農業・林業の業務を

答弁

答 農林業の現場は高齢化、鳥獣害、価格低迷と農林業者の作る意欲が失われていると認識している。個人への受託は、個人が倒れるとすべてが耕作放棄になる危険がある。組織への委託が安全。

林業の仕事も増えてくる。農林業公社も一つの方法かと考えている。



小廻りのきくバス運行を

農産物直売所の詳細は

22年度に具体化する

問 旭地域に農産物直売所を計画すると聞く。詳細は。

答 山下産業観光課長 22年度に休憩所として計画。休憩所にはトイレ、駐車場、特産物販売コーナー、観光案内所も設置する。場所は、交通量の多い429号線沿いで協議中。

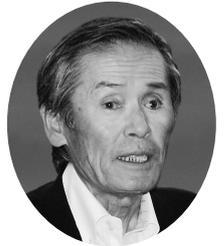
現在は国に申請中、8月には確定する。

答 定本町長 農産物直売所の野菜畑（柵原地域）で三、四千万円、物産センター（中央地域）で一億二千万円の売り上げがある。

旭地域の計画は、津山農業協同組合が積極的である。

農林業者が、作る・売る喜びを感じる生きがい対策に、また、生産・加工で活性化につながるかと期待している。

保健師常駐でサービスは上がるか 住民に安心感を与えたい



小島洋征 議員

問

町長は、旭・柵原総合支所に保健センターを置き保健師を一人常駐させるとのことだが、機能強化・サービス向上につながるか疑問である。

保健師の仕事は常に現場であり、現行体制の方が機動的にサービスを必要としている住民に対応できると思うが。

答

定本町長
18年度に地域包括支援センターを設置したことにより、健康教育や介護予防活動を含む保健業務が中央保健センターに集中し、保健活動などが親切に取り組めるようになった。

しかし、一方にある不安の声に配慮した

め、目に見える形で住民に安心感を与えたい。機能が低下するので

質問

50人委員会は本当に必要か

答弁

行政に住民の意見を反映させたい

問

50人委員会の設置は、多くの住民が行政に参画でき評価するが、21年度からは地域運営協議会も発足する。

両組織が競合する部分もあり、屋土屋を架す危惧も感じるが。

答

定本町長
地域運営協議会は、協働のまちづくり事業の一環に自治活動の推進を図るものであり、地域の要望をとりまとめていくことが基本である。

50人委員会は各界各層の人が委員になり、産業や環境、福祉や教育・文化などの専門部

はその指摘だが保健師を増員することで解決を図りたい。

反映させたい

行政に住民の意見を

会を設けて討論をし、答申を出していくもので、地域運営協議会とは違うものである。

人件費の削減が合併の大目的だが

減らしすぎても問題がある

質問

答弁

問

「職員数の削減や住民サービスの低下などは住民の不満を生む」との町長発言



窓口には知つとる人がおるほうがええな～（柵原総合支所）

答

定本町長
人員削減は必要

があつたが、合併の大きな目的は、悪化する地方自治体の財政状況を踏まえ、人件費を縮減して財源を確保することにある。

住民サービスの維持向上には、職員数を削減しつつ、本庁と総合支所の連携の見直しと強化によるべきと思うが。

答

氏平柵原総合支所長

本庁と総合支所との連携は、事務配分や守備範囲で連携体制を明確にする必要があると思つている。

合併して 良かったことの説明を さびれたという住民意識に 対応したい



日神山定茂 議員

問

新聞による意識調査で合併して良かったとの回答は、旧柵原町10%、旧旭町20%、旧中央町40%である。

町長は、先の臨時会でこの数字を基に「合併は良くなかった、問題がある」と認識を示した。

しかし、光ファイバー網布設、水道料金低減、赤字会計解消など、合併して良かったこともたくさんある。

これらをきちんと住民に説明した上で行政運営をしないと、本当に民意を反映した行政にならないのではないのか。

答

定本町長

調査結果から住民意識の中に、旭地域

や柵原地域がさびれたという思いがある。これを踏まえた対応が必要との趣旨である。

歴史と文化を大切に、説明も十分にしながら行政運営に努める。

質問

この時期に時間外手当とは

答弁

いつでも

支給するわけではない

問

町長の公約の中に、「町の財政は県内でも最低レベルにある、ゼロベースから歳出を見直し徹底して無駄を省く」ということだが、財政を立て直す手法は。

残業は行わない、時間外勤務は代休で対応ということだったが、

補正予算で時間外手当千九百五十万円が計上された。首長の報酬をカットするという話も聞く。町長にその考えはあるか。

答

定本町長

行政サービスを

低下させることなく、当面徹底した事務の見直しを行っていく。行政のスリム化も一つだが全体的な不公平感を払拭しなければならぬ。住民の意見を聞きながらできることはやる。無駄なことはしない。選択と集中だ。

時間外手当は、災害時や税金の申告、出張で勤務時間内に帰ってこれない時などに支給したい。

自身の報酬カットは考えていない。

質問

地域開放型の
中学校を

答弁

建設検討委員会で
検討願う

問

中央中学校の建設計画とコンセプトは。プール・体育館は、町民が利用できる多目的な施設にできないか。

答

泉教育長

21年度は実施設計と用地確保、22年度、



新しいプールは地域開放へ（中央中学校）

答

定本町長

23年度で建設を行う。コンセプトは、現在求められている『教える施設から自由に学ぶ環境づくり』へ、『閉ざされた学校から地域とともにある学校』へ向けて検討している。

プールの建設場所は、町民と併用させるために総合体育館周辺も考えている。プール、体育館とも建設検討委員会で検討してほしい。

質問

加美小学校の 施設整備を急げ

21年度に実施する

答弁



江原耕司 議員

問

加美小学校のプールは、築35年が経過し老朽化している。以前から再三にわたり陳情が出されているが、未改修である。今後の対応は。また、給食室の改修はどう考えているか。

答

定本町長

加美小学校のプールや給食室などは、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金の対象事業で21年度に整備する。

答

泉教育長

プール、給食室ともに衛生面と安全面を考慮し、改修を順次実施する予定。



早期の改修が待たれる加美小学校プール

質問

第二分庁舎を公民館に

利用できないか

答弁

制限はあるが利用できる

問

旧中央公民館が本庁第二分庁舎となり、地域住民が活動の場を失い困っている。文化活動の拠点施設に残すべきであったと思うが、本庁第二分庁舎を公民館に利用できないか。

答

定本町長

騒音の問題で、楽器などを使うことはできないが、公民館に利用してもよい。文化的な拠点施設の面は検討したい。

質問

中央中の
用地取得を急げ

答弁

近々に契約したい

問

中央中学校建設は、用地取得の交

答

定本町長

渉が進んでいない。建設委員会を設けて広く意見を求め、用地を確保した上で設計図面が描かれるべきでは。

用地取得には五人の地権者があり、20年度から交渉をしている。21年5月には新執行部で地権者を訪問し、学校の事ならと、協力の答えをいただいている。土地の契約も近々に行いたい。

質問

保健センターを現在地に残せ

答弁

現在地に残したい

問

保健センターの移転計画があると聞いているが、現在地が最も便利であり、この場所に残すことが良いのではないか。

町の顔である。便利が良い今の保健センターを増改築して、使用したい。

答

定本町長

亀甲地区は美咲



貝阿彌幸善 議員

協働のまちづくりは 進んでいるか

21年度から 新組織体系に移行

答弁

問 協働のまちづくり事業は、21年度から本格的な活動に入ると計画していたが、現状はどうか。

開催した。21年度から新しい組織体系に移行し、3年ほどかけ新しい組織活動を目指す。

答 難波企画財政課長 現段階は、自主活動組織づくりを進める。

20年度後半に組織の再編に向け、すべての地区で区長、自治会長を対象に説明会を

質問 教育現場の現状と対策は

答弁 きめ細かい学習指導で対応

問 ゆとり教育の弊害で、学力・規範意識の低下が指摘されている。また、学力の二極化が心配されているが、現状と対策は。

指摘もある。美咲町では、基本を重視した指導計画のもと、地域の教育力、保護者との連携を進め、一人ひとりが伸びる教育活動を展開している。

答 泉教育長 ゆとり教育は、自らが考え、学び、生きる力の育成を目指している。週5日制の導入とともに学習内容を精選してきた。

しかし、学力低下の度別指導など、きめ細かい学習活動をしてい



新しいご近所さんを待っています (大戸下団地)

る。学力の二極化はない。

クローズドドアの解消を

問 福祉巡回バスが充実してきているが、住民が自由に降りできない(クローズドドア)区間がある。これを解消できないか。また、町内のどの区間で乗り降りできないのか。

福祉巡回バスが充実してきているが、住民が自由に降りできない(クローズドドア)区間がある。これを解消できないか。また、町内のどの区間で乗り降りできないのか。

答 中西情報交通課長 民間路線バスとの競合により、自由に乗り降りできない区間は、かめつちバスの亀甲から錦織北、ウエストランドから津山中央病院間、支所間バス旭線の亀甲から中央公民館、柵原線の大戸下勝久橋から高下王子間、地域巡回バス中央地域の亀甲から坂口、柵原地域の塚角から高下間

である。

答 定本町長 民間企業の意見を聞き、話し合いをして、住民の不便、不利益を解消したい。

住宅団地の販売計画は

問 町内の住宅団地、未売却地の販売促進計画と売れ残り区画の総価格は。

答 難波企画財政課長 未売却地は、お

ばら団地四区画、加美団地一区画、大戸下団地九区画、王子団地六区画、月の輪団地一区画、計二十一区画、約九千二百平方メートル。売れ残っている区画の総価格は、一億二千百八十万円ほどである。

答 定本町長 今後、条件の悪い場所、特に日当たりの悪い場所、法面の多い場所など、単価の検討をする必要がある。

討をする必要がある。

質問

緑花公園の
分譲地の完成時期は

8月末頃の予定

答弁



岩野正則 議員

単価の見直しなど検討していく。

産業支援課の設置は

町長は、産業支援課の設置を公約

としているが、その目的と設置場所は。町内の商工業・農林業への新しい施策は。

答 定本町長

目的は、Uターン、イターンも含め若者定住に重点をおいている。町内企業の求人情報を町のホームページへ掲載したり、告知放送で住民に知らせるなど行いたい。設置場所は、本庁、

または、工場の多い柵原地域を考えている。特産物は商工会と連携をとり考えていく。農林業の特産品の開発は、国・県の補助を十分活用しながら知恵を出していきたい。

問

定期的な職員採用を

職員の補充が

再建のために退職者の補充がされず、職員のサービス残業が恒常化している部署がある。役場が定期的に職員採用することで、学生や就職活動中の社会人に就職の機会を与えることになり、その上、地域の担い手にもなる。職員採用をどう考えているか。

問

役場では、財政再建のために退職者の補充がされず、職員のサービス残業が恒常化している部署がある。役場が定期的に職員採用することで、学生や就職活動中の社会人に就職の機会を与えることになり、その上、地域の担い手にもなる。職員採用をどう考えているか。

宅内マスの

設置基準は

問

公共下水道工事の宅内マスの設置基準は。また、住民の税金が公正、公平に使われているか。

答

山本上下水道環境課長

官民境界から二メートル以内に、地権者と担当者との協議を決定している。

答

形井副町長
どんな大きな宅地でも道路から二メートル入った所が基準である。

報告 三船議長

宅地内工事は二メートルまでを厳守する。そのほかの工事は地権者に個人負担を願うということで議会は全員一致した。

問

分譲地の販売は、古い物から優先すべきではないか。価格の見直しなど、具体策はあるか。また、緑花公園分譲地の完成時期と販売時期はいつか。

答

難波企画財政課長
古い分譲地は早く売りたい。価格の見直しも検討する。

答

定本町長
緑花公園分譲地の完成は8月末頃。完成次第分譲を開始する。区画面積、販売



もうすぐ販売 緑花公園の分譲地



下山和由 議員

質問 県道・河川の整備を早急に 今後にも県に要望していく 答弁

問 台風十号災害以来、工事の遅れている箇所がある。県道26号線塚角から大戸下間は生徒の通学路でもあり通行量も多い。また、水害時には水没した経緯もある。道路の拡張、歩道の設置など早急に工事着工を。

答 定本町長 現在、大戸下から狭いところは、溝づたをして安全に気をつけている。今後も歩道の新設などは、県に強く要望していく。

問 内水対策が、今日までできていない。豪雨の際は、吉井川から逆流して民家が被害を受ける。特に、塚角・藤原地区など。

答 池本建設課長 藤原・久木地区は、雨水ポンプ場を各一カ所、特定環境保全下水事業は、35年までに整備するよう計画している。また、排水路の整備も同様である。

ほかの地区でも検討し対応したい。

問 吉井川支流の改修も何カ所か必要。特に、本山川の改修が遅れている。早急に対応を。

答 池本建設課長 本山川などは県の管理なので、今後も県に強く要望していく。



待ちに待った県道の安全工事（塚角～大戸下間）

質問 総合支所の充実を

答弁 ある程度の権限を与える

問 本庁と総合支所の連絡が密でないとも聞くが、総合支所の充実に向けた対応

答 定本町長 合併して4年が経過し職員の意識統一はできていくと思う。今後は、総合支所にもある程度の権限を与えたい。

学校教育は本庁の教育総務課で対応できると思っているが、どうしても職員が必要となれば検討していく。

問 総合支所に保健師の常駐はできるか。

答 定本町長 支所に保健センターを設けることは必要。人数不足を解消するため増員を考えている。

質問 IP電話の進捗状況は

問 IP電話の加入率の進捗状況は。また、地域によっての状況はどうなっているのか。

答 中西情報交通課長 みさきネットへの加入は、現在、五千七百九十三件、そのうち、IP電話への加入は二千七百件の47%である。申し込みも続いている。

トラブルには、みさきネット管理センターを立ち上げ対応している。

電話帳の作成は個人情報により無理。今後、公共施設のIP電話の電話帳を各家庭に配布したい。

質問

国際交流事業の

今後の展開は

関係者と相談し

再考する

答弁



角南憲一 議員

20年8月13日、

問

美咲町は、ベンチエー市（ベトナム）と人的・文化的・経済的な交流の合意書に双方調印したが、その後どうなっているか。

答

難波企画財政課長 調印後、20年11月25日から28日にかけて職員三人がベンチエー市を訪問し、友好協定に向け相談ができるよう市長に依頼した。その後、双方とも選挙の関係で停滞している。

問

ベンチエー市とのこの事業は、町民には理解できないという実感がある。これまでに、この事業に予算をいくら支出したのか。

答

難波企画財政課長 19年度に四百二十四万円、20年度に三百一十万円、総額で七百三十五万円を支出している。

問

国際交流の意義は十分理解できるが、町単独では人的・財政的に困難ではないか。

答

定本町長 ベンチエー市からは、いろいろと要望があるようだが、美咲町は経済支援ができる情勢ではない。また、町民の理解も十分得られていないことも承知している。外務省や岡山県にも協力してもらっている経緯もあり、関係者と相談しながら再考したい。



活気あふれるベトナムのまち（ホーチミン市内）

問

光ファイバー事業による生活を支

質問

IP電話の電話帳の作成を

公共施設の電話帳は作る

答弁

援するIP電話（無料電話）が不評なのはなぜか。

答

中西情報交通課長 4月から利用を開始したが、当初トラブルが多発したためだと思う。IP電話の全戸加入を目指す。

問

利用拡大のためIP電話の電話帳を作成しては。

答

中西情報交通課長 個人情報との関係があり、当面は、公共施設のIP電話の電話帳を予定している。

問

※みさきIP電話サービス利用規約第二条の規約変更は、どの機関ですか。

答

定本町長 規約の変更は、町長決裁になるが、料金の改定などは議員にも十分相談をする。

※（規約の変更）

第二条 美咲町は、事前の通知を行うことなくこの規約を変更することがある。この場合には、料金その他の提供条件は、変更後の規約による。

旭地域に 特養老人ホームの建設を 社協と協議し 前向きに検討する



金谷高子 議員

問 町長は、公約で老人介護施設が不足しているため、早急に県と協議をしていくと言っている。

旭地域には、通所の施設は二カ所あるが、高齢化が進み、地域住民は不安を感じて生活している。

入所者施設の建設は、

答 定本町長

町内の介護保険入所者施設は、下の表のとおり不足している。

そのため、次のような介護保険事業計画を策定している。

- ① 地域密着型介護老人福祉施設、入所者生活介護に小規模特別養護老人ホーム
 - ② 認知症の対応型共同生活介護（グループホーム）
 - ③ 小規模多機能型の居宅介護
- 今後、社会福祉協議会と協議をし、前向きに考えていきたい。

表 施設の定員数と待機者数

施設名	定員	待機者
特別養護老人ホーム白寿荘	60名	216名
特別養護老人ホーム吉井川荘	50名	130名
老人保健施設エリシウム柵原	60名	39名



グラウンドゴルフを楽しむ人たち（あさひが丘）

子育て支援の

持続を

問

町の財政は厳しい状況であるが、現在、美咲町では子育て支援が充実している。若い人たちは町長が替わるとサービスが低下するのではないかと不安に思っている。現在の子育て支援が持続されるのか。

答

定本町長
現在、町で行っている子育て支援プランには、就学前の子どもを家庭で保育している人への助成や、水道基本料金の助成などの制度がある。二事業だけでなく、

でも21年度予算を総額で四千五十万円計上している。従来の子育て支援をさらに充実させていきたい。水道料金の助成、保育料の減免も今までどおり行っていきたい。

質問

がん検診の無料クーポン券の利用はいつからか

答

8月上旬に送付する

問

女性特有の子宮頸がん、乳がん検診に国から無料クーポン券と手帳が配布される。若い人たちの受診率が低い、早期発見が第一。受診率を上げるためにどのような啓発を考えているか。無料クーポン券と手帳の利

用はいつ頃か。
答 村島健康増進課長
国は経済対策で、子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券と手帳を配布し、受診率の向上を図ることを目玉にしている。一定年齢に達した女性のみ配布する。対象年齢は、子宮頸がんでは20歳から五歳刻みで40歳まで。乳がんでは40歳から五歳刻みで60歳まで。年齢区分に該当しない人には、細かく個別通知などで知らせる方法が一番と考えている。無料クーポン券と手帳は、8月上旬に対象者に送付する予定。

保育士の待遇改善を

職員採用を 随時検討する

答弁

表 保育園の園児数と職員数

保育園名	定員	4月現在 在籍園児数	職員数	
			正職	嘱託
中央かめっこ 保育園	200	212	10 (4)	34 (14)
旭保育園	100	62	5 (3)	10 (4)
藤原保育園	45	43	6 (4)	10 (4)
柵原西保育園	100	60	2 (1)	3 (1)
柵原東保育園	60	28	2 (1)	2 (1)
合計	505	405	25 (13)	59 (24)

※柵原地域保育園は園長兼務のため、職員数として藤原保育園にのみ計上

※職員数は、保育士、調理員を含む。ただし、所属部署のみ
※（ ）内は担任数である



梁山朝子 議員

問

美咲町では子育て支援が非常に進んでいる。大脳の発達はまだ0歳から6歳くらいまでが特に旺盛と言われている。保育士には、豊かな経験を生かして子どもの人格を育てる

答

各保育園別の職員数は左の表のとおり。中には嘱託職員の方が良いという人もいるが、保護者からは、担

問

重要な役割がある。しかし、町の保育士は嘱託職員が多い。必要な人員は正規職員とし、保育士の待遇改善で働く人に希望が持てるよう、自治体に責任を持つてほしいが。

定本町長

問

幼・保一元化で、就学前教育を重視した保育がされていらないという保護者の不安の声を聞くが、十分な対応はできているか。

答

桑元住民課長
十分心得ながら対応していきたい。

問

6月1日、吉ヶ原に児童館が開設された。東小学区からの九人を含め一日に七十二人が利用する日もあった。トイレと洗面所の増設を早急に。東小学区の児童施設は、

児童館の設備を 早急に



児童館って楽しいな (吉ヶ原地内)

答

定本町長
現場に行ってみたらトイレと洗面所は必要であり、早急に整備する。東小学区の問題は意見をまとめてもらう予定。

問

福祉バスの充実
福祉バスの充実とデマンド方式など、きめ細かな運用を含めた抜本的な見直しを図れ。

答

定本町長
福祉バスの充実
は、地域と話し合って良い方向で実施したい。

福祉バスの充実を



草苺良明 議員

農業政策に 予算の増額を 農業関連の補助金で 対応する

問 世界的不況のあおりを受け、地域の商工業は大影響を受けている。国の緊急経済対策で国から町に五億二千万円入る。農業分野への配分は。

答 定本町長
美咲町の基幹産業は農業であり、おろそかには考えていない。農業関連の補助金で休憩所、農産物の直販所の新設、また、各農産物直売所のオンライン化と生産者の販売管理ができるシステムの導入を計画している。

質問 農道の整備は

答弁 地元の要望と確認による

問 高齢者の農機具での事故が建設関係の五倍強と高い。危険箇所の見直し、点検・改修。農道から町道に格上げするメリットの追求。工事の先送り箇所の整備を。

答 池本建設課長
農水省のまとめでは、農機具事故による死亡事故は三九七件、作業事故は二五九件。そのうち高齢者による事故が75%と高い。町内では19年度、20年度ともに高齢者の死亡事故はない。農道の改修は、地元農業者と協議し、現地確認をして、要望書の提出などで進めている。農道から町道へ格上げすると町への交付金の対象になるというメリットがあるが、認定の基準が必要である。



中山間地域で生きていける政策を

高齢化で耕作放棄と農地崩壊の危機にある。農家、農村で子育てできる方向性が欲しい。21年度で中山間総合整備事業が終わるが、この制度は、地域活力の基になる良い制度である。国に継続の要望を。

質問 中山間直接支払事業の継続を

答弁 中四国農政局などに
要望していく

問 昔から「農業を粗末に扱えば国が減ぶ」と言われる。治水利と地域発展の礎

答 昔から「農業を粗末に扱えば国が減ぶ」と言われる。治水利と地域発展の礎を築いてきた。しかし、農業離れ、

答 山下産業観光課長
美咲町は県下でトップクラスの取り組みをしている。中央地域五十四団体、旭地域十四団体、柵原地域四十六団体、農家戸数は二千八十二戸、面積百十六ヘクタール、国から補助金一億八千六百万円が中山間地域の担い手団体に入っている。多額な補助金であり、町の大事業である。継続事業となるよう中四国農政局などに強く要望していく。

質問

障害者へ就労支援を

支援の強化を考える

答弁

援が必要と考えている。一人でも多くの一般就労への移行を図っていきたい。

答 定本町長
支援の強化を考えなければならぬ。具体的には「美咲物産」などでの雇用が考えられる。

化が進んでいる。「自立」に向け、さらに支



林田 実 議員

問

身体障害・精神障害・発達障害・

内臓機能障害とさまざまな障害を持った人がいる。そのほとんどが「社会復帰」を望み「自立」を最終目標にしているが、難しいのが現実である。障害者が自らの力で利益を生み自分たちの手で「自立」をつかむために、ブドウ農地などの提供はできないか。

答

福田保健福祉課長
現在、障害者の重度化・重複化・高齢

質問
合併協議の内容を守るべきでは

答弁
支所機能を充実させる

問 総合支所方式は、合併時の町民との公約である。旭・柵原総合支所の教育委員会会の廃止は、将来、教育の後退につながるのではないか。また、総合支所の大幅な職員の削減で、税務申告時の出張サービスが廃止となった。行政サービスの低下ではないか。

答 定本町長
総合支所には地

元職員の配置を考えている。住民サービス、機能の充実に取り組みたい。

問

(株)DOWAホームディングスからの地元地区への迷惑料である寄付金を適切に使うべきではないか。

答 定本町長
迷惑料の意味あ

いが強い。関係地域の活性化のために使っていくことが望ましい。

質問

子どもを守る歩道の整備を

早急に整備したい

答弁

問 塚角地区の中学生は、塚角から大戸下間を通学している

が危険である。地域の宝である子どもたちを守るために、歩道の整備と柵原東小学校付近へ歩道の確保を。また、全町で通学路の点検を。

答 定本町長
塚角から大戸下間、県に要望を続けていく。追い越し禁止ラインなど公安委員会にも要望し、安全確保に努めたい。また、町道は早急に整備をしていきたい。



危ない!! 歩道のない通学路 (行信地内)

質問
地域づくり組織の
構想を示せ

自主活動組織の編成に
全力で取り組む

答弁



松田英二 議員

問 住民主体の「地域づくり」この積み重ねこそが協働のまちづくりの根幹になると考えるが、最も望ましい地域組織の構想と組織確立の年次計画を示せ。

答 難波企画財政課長 旧村・コミュニティティーなどの単位で地域づくり協議会（自主活動組織）を21年度中に編成し、続いて旧町単位で地域運営協議会（地域活動組織）を編成、最終的にはまちづくり連絡協議会（町活動組織）を立ち上げる。

答 協働のまちづくり交付金事業は今後3年間をめどに実施する。

問 協働のまちづくりでの活動を補佐する総合支所に課の増設、人材の増強、決済の権限を与えて機能強化を図るべきではないか。

答 協働のまちづくりは新制度に移行する際に各総合支所に担当者を決めている。課の新設、決裁権限は、今後充実を図る。

問 21年3月、柵原総合支所駐車場に突然バスの車庫が建設された。地域住民からは疑問の声がある。支所施設を整備する時はまず地域の理解を求めべきではないか。

答 定本町長 地元の意見を尊重し、移築を含めて検討する。



移築が望まれている車庫（柵原総合支所前）

予算成立前の契約者決定は理解できない

問 中央中学校改築工事基本設計契約書には、引き続き実施設計も契約すると取れる覚書が業者と交わされている。予算が成立する前に契約する業者が決定しているのは理解できないが。

答 定本町長 基本設計と実施設計は一連の作業であり、国への補助金申請に間に合わせるための処置である。

に行うよう担当課に指示している。

契約の状況はすべて公表せよ

問 町では、工事などの入札状況はホームページで公表しているが、随意契約、見積の状況は公表していない。契約の状況はすべて公表するべきではないか。

答 杉山総務課長 現時点では考えていない。ほかの町村の状況を参考に検討する。

問 津山市では工事入札のダンピング（過当競争）を防ぐため最低制限価格変動性を取り入れている。導入する考えはないか。

答 定本町長 工事入札の最低制限価格は過当競争の防止、地域性などの状況を考慮した価格設定を心がけて取り組んでいる。

議会を傍聴して

6月定例会の一般質問（6月17日、18日）を大勢の人が傍聴されました。傍聴して気付かれたことなどナマの声をお伺いしました。紙面の都合上、57人中8人の声をお届けします。

総合支所の機能強化で、旭保健センターの利用をぜひお願いしたい。

女性

私たちの思っている事を議会ですべてささるので、議員と話しをすることが良い事だと思う。どしどし議員と話しをしたい。

六十代 女性

議会の傍聴は初めてで、最初は緊張しましたが、議事が進むにつれて緊張もほぐれ、平常心で傍聴することができました。

日常生活を送っている中で、身近に感じる項目（IP電話・高齢者の交通手段など）が議題になっていて、感心を持って傍聴することができ、大変よかったですと思いました。

また、機会があれば傍聴したいと思います。
七十代 女性



メモを取りながら熱心に聞きいる傍聴者

民意の反映のために50人委員会を開くことは良い事と思います。福祉バスの運行ですが、国道429号線を走っている「かめつちバス」は、いつ見ても

六十代 女性

空車同然で走っているように思います。二億円もかけているのならもう少し考えたらよろしいのでは。

福祉バス、農業公社の質問に大変関心を持って傍聴させていただきました。

六十代 女性

町長が替わって初めての議会。前町長は多くの問題をかかえながら本当に頑張られたと思います。過去4年間での良い事は継続され、また、改善すべき事は改善され、議員一丸となって美咲町の発展に努められますよう期待しております。

六十代 女性

旭・柵原支所に保健師を常駐させると聞き、喜ばしい事と思えました。高齢化社会になり、健康についてますます不安になる人が増える中、地元出身の職員を配置することは、地元の人にとって心の安心にもつながり、健康増進につながると思います。

七十代 女性

今日は初めて傍聴させていただきありがとうございました。初めてなので感想は聞かれても難しいです。感じたことは、前置きが長くて、そもそも口の中で言っているようで、よく聞き取れませんでした。質問ははつきりと手短かにしてほしいと感じました。

六十代 女性

行政視察の報告

ゴミ処理施設・協働のまちづくり

6月28日～29日

長年の懸案であった津山圏域（津山市・美咲町・鏡野町・勝央町・奈義町）の広域的なゴミ処理施設は、21年4月に一部事務組合である資源循環施設組合を設立し、現在、機種選定作業が検討委員会で行われている。また、美咲町内では、合併当初からの課題であった協働のまちづくりの柱である地域運営協議会を設立する。

ゴミ処理の状況
最初に視察を行った

これは香川県の香川東部クリーンセンター（香川東部クリーンセンター）である。この施設は、香川県東部に位置するさぬき市を中心に、二市一町（合併前は十二町）約十二万三千人の家庭ゴミのすべてを粗大ゴミ・不燃物も含めて溶融処理している。また、隣接するリサイクル施設ではペットボトル・ビン類・古紙などが選別・梱包過程を経て再利用にされている。

香川東部 クリーンセンター

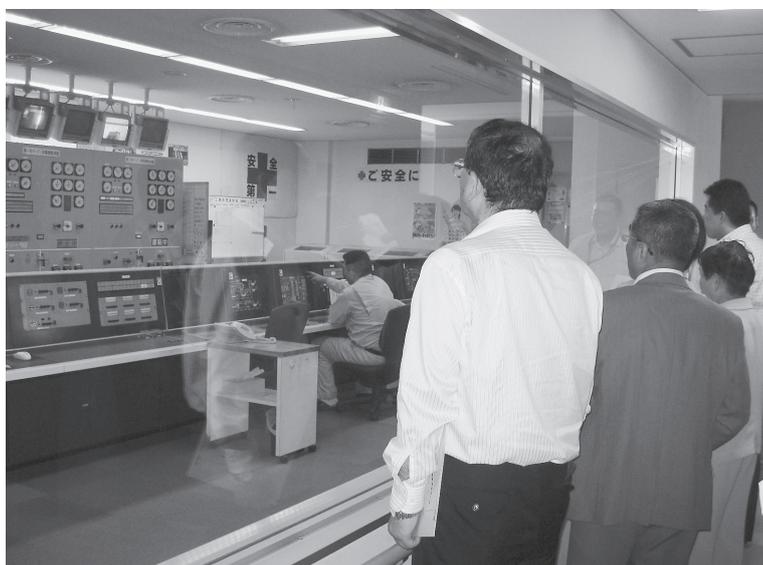
香川東部クリーンセンターが採用しているゴミ処理の柱は溶融炉である。溶融炉の安全

性能は、すでに多くの人が認識されていると思うが、極めて水準の高いものである。従来の燃焼型の施設とは異なり、二千度近い高温で溶融するため、鉄クズなどの不燃ゴミや粗大ゴミも処理が可能であり、最終処分場を必要としない。溶融物として排出されるメタル・スラグは資源物に再利用される。また、溶融過程で発生するガスは、二次燃焼室で燃焼されるが、燃焼後に発生する飛灰はゴミ全体量の約3%程度であり、最終処分場の延命には大いに効果があると思う。さらに、ガス燃焼の余熱を利用した発電も大いに魅力があ

る。説明では、施設全体で必要とする電力・給湯をカバーした上で売電する電力が年間約五百万円とのことだった。

ただ、高温を維持するための助燃剤であるコークスが高価であること、また、溶融炉の維持管理（メンテナンス）にかかるコストが予測以上に必要とのこ

とであった。今後の機種選定は、財政面での十分な検討が必要であろう。



ゴミ処理は美咲町にとっても大きな問題だ
(さぬき市クリーンセンター)

尾道市 クリーンセンター

次の視察先は、広島県尾道市のクリーンセンター。この施設は、最も一般的なストーカー方式の燃焼炉であ

る。ストーカー炉とは、分別収集された家庭ゴミを、段階を追って乾燥させながら、木クズなどの助燃材と混合することで必要な熱量を確保して約八百度の高温燃焼させる方式である。

これは、中央地域・旭地域が参加している西部衛生施設組合・中部環境施設組合と同様の施設であり、ダイオキシン類などの発生に問題があったが、バグフィルターを取り付けや燃焼温度の上昇などの技術改良で安全性の確保、環境負荷の低減が実現されている。建設コストが溶融炉より安価であり、運転の管理が比較的簡単である。ただ、飛灰の処理には別工程が必要であること、不燃物の処理ができないことによる最終処分場の設置が不可欠である。

施設は、築後15年以

上が経過しており、近々に建て替えとのことだが、最新の技術を導入した施設が建設されると思われる。今、私たちの地域では広域のゴミ処理施設の建設に先立ち、機種の選定作業が進められているが、安全性の問題はもとより、建設コスト、将来にわたる維持管理コストなど、十分に検討した上で、最終判断をするよう願う。

協働のまちづくり

美咲町誕生から4年が経過し、21年度には、ようやく協働のまちづくりの母体となる地域運営協議会が発足するが、合併協議が駆け足で進められたこともあり、協働のまちづくりに関する十分な議論がされないままに現在に至っている。

視察先は、広島県安芸高田市。安芸高田市

は、16年3月に六町が合併し誕生した。広島県中東部に位置し、面積約五百四十平方キロメートル、人口約三万三千人で、人口・面積ともに美咲町の約二倍の町である。

合併に先立つ12年には、介護保険などの広域連合を設置して広域行政を推進する中、13年に合併調査研究協議会が設置され、以後4年にわたり諸々の課題を協議されている。また、合併した六町の中には、島根県と隣接する旧高宮町川根地区という地域振興・住民自治の先進地が含まれている。

行政と住民が一体となつてのまちづくりは、一朝一夕にしてできるものではなく、安芸高田市でも模索・奮闘中の様子である。しかし、説明資料や市職員からの説明を聞くと、これから協働のまちづく

りを進めようとしている私たちにもいくつかの指針は見えたように感じられる。

- 1、危機感の共有
- 2、自治意識の醸成
- 3、将来展望の共有

今、なぜ協働のまちづくりか、ということ、を、われわれ議員も自らに問い返し、地域とは何か、生活とは何か、生きるとはどういうこ

とか、という根源的なところまで掘り下げていかないと、行政と住民の関係、地域の将来を語ることはできないと深く感銘を受けた。これからも財政は厳しく、過疎・高齢化は進むと予測されるが、将来の地域社会・地方行政を展望するには「協働」という考え方は不可欠である。



協働のまちづくりを勉強中 (広島県安芸高田市)

臨時議会の報告 (7月10日)

国の補正予算成立により地域活性化・経済危機対策臨時交付金五億二千万円が美咲町に交付された。

この交付金を活用した予算案件を臨時議会が審議し、全会一致で承認した。主なものは次のとおり

◎一般会計補正予算

6億4千3百万円を追加

★生活道路

改修舗装事業

一億六千五百万円

★農道改修舗装事業

三千二百三十万円

★河川改修事業

千九百五十万円

★中央保健センター

改修事業

四千四百八十六万円

★柵原老朽町有住宅

解体撤去事業

三千百十八万円

★米づくり推進事業

二千五百九万円

★消防小型動力ポンプ付積載車整備事業
二千万円

★柵原中学校屋上改修事業
二千五百三十三万円

★加美小学校施設改修事業
千二百九十九万円

★中央運動公園武道館屋根改修事業
千二百二十万円

★食堂かめつち周辺整備事業
千二百四十万円

◎統合簡易水道業

特別会計補正予算

★監視装置整備事業
千九百六十万円

予算総額は

168億円

この補正で、一般会計は百五億九千七百九十万円、特別会計は六十二億三千九百八十万円となり、予算総額は、百六十八億三千七百七十万円となった。

みんなちがって みんないい

やなはらおはなし倶楽部

町内のサークルを紹介し
ます。
楽しいサークル、ユニークなグループご連絡ください。
議会広報委員がおじゃま
します。

柵原地域の子どもたち
に心の栄養を届けて
いる「やなはらおはなし
倶楽部」(代表・坪内
かおりさん)を訪ねま
した。

良い物語は生涯心に
残るもの。確かに実感
しました。

**本が大好きな
仲間たち**

平成13年にエイコン
マナビーを拠点に本の
よみかせをする「や
なはらおはなし倶楽
部」を立ち上げました。
この秋で8年になりま
す。30歳代から70歳代
の女性九人のメンバー
で《みんなちがってみ
んないい》を合言葉に
一人ひとりの持ち味を
大切にしています。

**今を
楽しみながら**

毎月第一土曜日にエ
イコンマナビーでよみ

きかせイベントを行っ
ています。柵原東小学
校・柵原西小学校での
朝のよみかせやブッ
クスタートも定着して
きたようです。

子育ての時間をでき



七夕飾りに何をお願いしたのかな？(柵原エイコンマナビー)

**絵本を
読みましょう**

よみかせの面白さ
は、子どもと読み手が
一つになれるというこ
とです。人生の中で最

るだけ楽しみながら歩
みましようということ
で、これまでに赤ちゃ
ん絵本研究家高山智津
子先生の講演会、立石
憲利先生の岡山民話を
聞く会を開催していま

も大切な幼少期に親と
子がどれだけ共有する
時間を持てるか。それ
は意外とわずかなもの
かもしれません。本は
一番身近な材料で、目
に見えない栄養をいつ
ぱい持っています。お

**私たちからの
お願い**

町内の児童館や公共
施設にもっと絵本が必
要です。ご家庭でねむ
っている絵本があれば
提供してください。子
どもたちが絵本に触れ
る環境をもっと整えて
いければと思っていま
す。

**仲間に
なりませんか**

私たちは、月に二回
の定例会でよみかせ
の練習をしています。
ぜひ私たちの仲間にな
ってください。いつで
もエイコンマナビーの
窓口で待っています。

編集後記

町民皆さまにより
選ばれた十六人の議
員で構成する新しい
美咲町議会が発足し
ました。現職十人と
新人六人の中には40
歳代から70歳代まで
経験豊富な人材が集
まりました。二人の
女性議員が加わった
事で女性の視点から
見た政治への関心が
高まる事が期待され
ています。
各地域の難問、各
世代の悩みなどの諸
問題解決に向け、全
力で取り組んでまい
ります。
議会だより編集委
員も一新されました。
議員の活動をでき
るだけわかりやすく
伝えてまいります
ので、今後ご指導
ください。
(松田記)

- 議会広報編集特別委員会
委員長 松田 英二
副委員長 小島 洋征
金谷 高子
岩野 正則
草苺 良明
松島 啓